

## 自立した市政運営とさらなる発展に向けて

### 平成22年度予算が成立しました

市議会第1回定例会において、平成22年度当初予算が成立しました。

平成22年度予算は、厳しい財政環境を認識しつつ、総合計画の後期基本計画やマニフェストの推進に努めるとともに、引き続き、行財政改革にも積極的に取り組むこと、納めていただいた税金を効率的かつ無駄のないよう各施策に振り向け、市民福祉の向上とまちづくりの推進に最大限応えていくこと、これらを基本として編成しました。

一般会計予算額は676億9,600万円(前年度比11.7%増)となり、当初予算規模としては、過去最高額となりました。また、8つの特別会計をあわせた予算総額は1,057億6,010万円で、前年度より42億1,606万円増(前年度比4.2%増)となりました。

平成22年度は、新市建設計画の最終年度であり、残された計画事業を着実に実施する重要な年になります。また、まちづくりを進めるためには、行財政改革への取組が不可欠です。そのため、平成22年度からスタートする第三次行財政改革に着実に取り組むことで、市民サービスの維持・向上を実現できる、持続可能で自立的な行財運営の確立を目指します。

平成22年度の予算の詳細は以下のとおりです。また、計画事業の概要は次ページをご覧ください。

各予算額は原則として表示単位未満を四捨五入しています。

財政課 ☎(☎460-9802)

### 一般会計

平成22年度 一般会計予算 676億9,600万円

住民1人あたり 347,837円

「住民1人あたり」の金額は、平成22年3月1日現在の西東京市の人口(194,620人)で計算しています。

#### 国庫支出金

86億8,751万円

構成比 12.8%

国からの補助金や負担金など

住民1人あたり 44,638円

#### 市債

90億7,540万円

構成比 13.4%

公共施設の建設事業などのための借入金

住民1人あたり 46,631円

### 歳入

#### 都支出金

72億8,398万円

構成比 10.8%

東京都からの補助金や負担金など

住民1人あたり 37,427円

#### 民生費

318億1,504万円

構成比 47.0%

子どもやお年寄り、体の不自由な方などの福祉のために

住民1人あたり 163.473円

#### 総務費

70億9,153万円

構成比 10.5%

行政の運営や市税の賦課・徴収などのために

住民1人あたり 36,438円

#### 土木費

87億6,997万円

構成比 13.0%

道路や公園などの住環境を整備するために

住民1人あたり 45,062円

### 歳出

#### 教育費

60億2,279万円

構成比 8.9%

学校、公民館、体育施設などの整備や教育の振興のために

住民1人あたり 30,946円

#### その他

93億1,224万円

構成比 13.8%

国や東京都からの交付金、各種使用料・手数料による収入など

#### 繰入金

45億8,099万円

構成比 6.8%

基金(市の貯金)から繰り入れた金額など

住民1人あたり 23,538円

#### その他

84億9,634万円

構成比 12.6%

防災活動、ごみ収集・リサイクルや市民の健康のために

#### 市税

287億5,588万円

構成比 42.5%

市民税など、皆さんに納めていただいた税金

住民1人あたり 147,754円

#### 公債費

55億33万円

構成比 8.1%

市債の返済のために

住民1人あたり 28,262円

### 特別会計

#### 国民健康保険

173億4,144万円

増減率 - 3.2%

#### 下水道事業

47億13万円

増減率 - 30.0%

#### 介護保険

104億6,172万円

増減率 2.5%

#### 後期高齢者医療

32億3,389万円

増減率 4.3%

#### 中小企業従業員退職金等共済事業

1億4,502万円

増減率 6.6%

#### 老人保健(医療)

1,035万円

増減率 - 80.0%

#### 駐車場事業

1億5,912万円

増減率 - 7.2%

#### 保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業

20億1,244万円

増減率 - 24.7%